

# Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2024  
MARCH

Special  
Concert

Mon. 25th March

No. 718

Sat. 30th March  
Subscription Concert

3



Jonathan Nott, *Music Director*



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶
	ユベール・スダーン
正指揮者	原田慶太楼
名誉客演指揮者	大友直人
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス ◆
	上田 仁 ◆
	遠山信二 ◆

名誉コンサートマスター 大谷康子

コンサートマスター 小林杏成

グレブ・ニキティン

アシスタント・  
コンサートマスター 田尻 順

会長 澤田秀雄

理事長 岡崎哲也

副理事長 平澤 創

依田 巽

専務理事 廣岡克隆

理事 阿部武彦 辻 敏

池辺晋一郎 永山 治

伊藤美樹 夏野 剛

大橋 博 南部靖之

コシノジュンコ 福川伸次

庄司 薫 藤原 洋

菅谷貴子 増岡聡一郎

竹中平蔵 森 京子

監 事 磯村文靖

寺西基之

評議員長 金山茂人

最高顧問 梅沢一彦 中村紀子

評議員 鷺海暲明 星 久人

片山泰輔 山添 茂

加藤英輔 芳野まい

特別顧問 飯島延浩

草壁悟朗

福田紀彦

【ハープ寄贈：環境ステーション株式会社】

### 1st Violins

- 木村正貴
- 堀内幸子
- 森岡ゆりあ
- 小川敦子
- 小山あずさ
- 立岡百合恵
- 土屋杏子
- 中村楓子
- 水谷有里
- 吉川万理

### 2nd Violins

- 清水泰明
- 服部亜矢子
- 坂井みどり
- 加藤まな
- 福留史紘
- 阿部真弓
- 河裾あずさ
- 鈴木浩司
- 竹田詩織
- 辻田薫り
- 塩谷しずか
- 渡辺裕子

### Violas

- 青木篤子
- 武生直子
- 西村真紀
- 多井千洋
- 山廣みほ
- 小西応興
- 鈴木まり奈
- 永井聖乃
- 新井瑞穂\*
- 金田混司\*

### Cellos

- ☆伊藤文嗣
- 笹沼 樹
- 川井真由美
- 内山剛博
- 蟹江慶行●
- 樋口泰世
- 福崎茉莉子

### Double Basses

- 助川 龍
- コーディネーター
- ローズブーム
- 北村一平
- 久松ちず
- 安田修平
- 渡邊淳子

### Flutes

- 相澤政宏
- 竹山 愛

### Flutes & Piccolos

- 高野成之
- 濱崎麻里子

### Oboes

- 荒 絵理子
- 浦脇健太
- 荒木良太\*

### Oboe & English horn

最上峰行

### Clarinets

- エマニュエル・ヌヴェー
- 吉野亜希菜
- 近藤千花子
- 小林利彰

### Bassoons

- 福士まり子
- 福井 蔵
- 坂井由佳
- 前関祐紀

### Horns

- 上間善之
- 加藤智彦
- 阪本正彦
- 清根伸吾
- 白井有琳\*

### Trumpets

- 澤田真人
- 野沢岳史●
- 松山 萌
- ローリー ディラン\*

### Trombones

- 大馬直人
- 鳥塚心輔
- 住川佑佑

### Bass Trombone

藤井良太

### Tuba

近藤陽一

### Timpani & Percussions

- 清水 太
- 山村雄大
- 武山芳史
- 綱川淳美
- 新澤義美

### Librarians

林 知也  
加藤幸子

### Stage Managers

西岡理佐  
山本 聡

### 楽団員

井伊 準◆

### 楽団長

廣岡克隆

### 編成局シニア・ディレクター

藤原 真

### パーソネル・マネージャー

謝名元 民

### 楽団委員

- 小西応興 (議長)
- 福留史紘 (書記)
- 清水泰明
- 多井千洋
- 北村一平
- 藤井良太

### 事務局長

辻 敏

### 事務局

- 市川萌都
- 伊藤瑛海
- 榎 日向
- 小川博司
- 尾木貴雄
- 桐原美砂
- 高瀬 緑
- 竹内裕子
- 長久保宏太郎
- 山田道子
- 梶川純子
- 三橋真琴\*

### 名誉団友

- 深江泰輔◆
- 三木晴雄◆

### 団 友

- 天野佳和
- 新井 汎
- 安藤史子
- 池田 肇
- 石川晴依世
- 今村和弘
- 岩澤淳子
- 上原正二
- 上原規照
- 原未莉
- 内田彬雄
- 内田乃利子
- 宇部 実
- 梅田 学
- 大隅雅人
- 大塚正昭
- 大笠康男
- 大和田浩明
- 大和田ルース
- 小川さえ子
- 狄野 昇
- 奥田昌史
- 音川健二
- 加護谷直美
- 笠原勝二
- 甲藤さち
- 加藤信吾
- 金澤 茂
- 久保田一穂
- 熊谷仁士
- 黄原亮司
- 小林照雄
- 小林亮子
- 佐川聖二
- 佐々木真
- 篠崎 隆
- 菅野明彦
- 杉浦直雄
- 鈴木一輝
- 芹澤英雄
- 曾根敦子
- 武田英昭
- 田中真輔
- 千村雅信
- 十亀正司
- 豊山 悟
- 中塚和良
- 中塚博則
- 中山 智
- 西佐智子
- 西脇秀治
- 野村真澄
- 馬場隆弘
- 原田美保子
- 日野 奏
- ペアンテ・
- ボーマン
- 前田健一郎
- 松崎里絵
- 丸山正昭
- 三浦正信
- 宮原祐子
- 宮本直樹
- 宮本 睦
- 森みさ子
- 諸橋健久
- 渡辺 功
- 渡辺哲郎

☆ソロ首席奏者 ●首席奏者 □客演首席奏者 ○フォアシュペラー ●インスペクター

■本部長 □シニア・ディレクター \* 研究員・準事務局員 ◆ 故人

# 演奏会でのお願い Concert Manner Guide



## チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

お手持ちのチケットは記載されている座席番号にのみ有効です。  
座席移動はご遠慮ください。

Please be seated at the seat number designated on your ticket.



## 演奏中はお静かに

手荷物に付けている鈴やビニール袋等は音を立てないようにご  
配慮ください。演奏中の私語、プログラムやスコア等紙類をめく  
る音、かばんのチャック等をさわる音も思っている以上に場内  
に響きます。

Please be silent during the performance.



## 開演前に携帯電話、時計のアラーム音、 電子機器等の電源はOFF

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は  
必ず切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms and  
all other noise-emitting electronic devices before the  
performance begins.



## 周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出しての鑑賞や、つばの広い帽子や高さのある帽子は  
脱いでご鑑賞ください。またリズムをとる行為も迷惑になりま  
すのでおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in a way  
which could disturb or obstruct the view of those seated near you.



## ホール内での録音・録画・ 許可のない写真撮影は禁止です

Photography, filming and recording are prohibited.



## 演奏中の飲食はご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は場内に響きますので、演奏中の  
開封はご遠慮ください。

Refrain from eating and drinking during the performance.



## 補聴器の確認を

補聴器をご使用のお客様は、ハウリングの発生を避けるために  
きちんと装着されているか今一度お確かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please check  
that your device is suitably set before the performance  
begins.



## 開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場は制限させていただきます。途中入場がある場  
合は、係員の指示に従ってください。

You will not be permitted to enter the concert hall during a  
performance.



## 咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量はかなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from  
any coughing or sneezing.



## 曲の余韻も演奏のうちです

音が消えゆく余韻を十分に感じてから拍手をお送りください。

The lingering sounds and moments are part of the performance.  
Please hold your applause until the actual end of the performance.

## カーテンコールの 撮影について

定期演奏会・川崎定期演奏会・東京オペラシティシリー  
ズ・特別演奏会にて終演後のカーテンコールの撮影が可  
能になりました。撮影は自席にご着席のまま、周りのお  
客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

◎前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません

◎フラッシュの使用、目線より  
高い位置での撮影はご遠慮ください

◎SNS等に掲載する際は、  
ほかのお客様の映り込みにご注意ください

◎スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、  
自撮り棒の使用はご遠慮ください

3/25 MON.

## 特別演奏会 コンチェルト・ナイト

2024年3月25日(月) 19:00 東京芸術劇場コンサートホール

## Special Concert "Concerto Night"

Mon. 25th March 2024, 19:00 Tokyo Metropolitan Theatre

原田慶太楼 [指揮]

亀井聖矢 [ピアノ]

小林孝成 [コンサートマスター]

Keitaro Harada, Conductor

Masaya Kamei, Piano

Issey Kobayashi, Concertmaster

チャイコフスキー:

歌劇「エフゲニー・オネーギン」から  
ポロネーズ (5')

P.I.Tchaikovsky:

Polonaise from opera  
《Eugene Onegin》(5')

プロコフィエフ:

ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 op.26 (27')

I. アンダンテ - アレグロ

II. [主題と変奏] アンダンティーノ

III. アレグロ・マ・ノン・トロツボ

休憩 (20')

S.Prokofiev:

Piano Concerto No.3 in C major, op.26 (27')

I. Andante - Allegro

II. Tema con variazioni : Andantino

III. Allegro, ma non troppo

Intermission (20')

ガーシュウィン: ピアノ協奏曲 ヘ調 (33')

I. アレグロ

II. アダージョ - アンダンテ・コン・モート

III. アレグロ・アジタート

G.Gershwin: Piano Concerto in F (33')

I. Allegro

II. Adagio - Andante con moto

III. Allegro agitato

●主催/公益財団法人東京交響楽団

●後援/一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

楽曲解説はP.06をご覧ください

3/25 MON. 30 SAT.



© 37 Frames

# Keitaro Harada

Conductor

原田慶太楼 [指揮]

Associate Conductor

正指揮者

## 正指揮者 任期延長

2021年より正指揮者を務める原田慶太楼の任期を2026年3月まで延長いたします。就任以来、古典作品からロシア、アメリカ音楽、日本人作品に至るまで幅広く指揮し、多彩なプログラムを取り上げました。こども定期演奏会「新曲チャレンジプロジェクト」の立ち上げや、「軽井沢シリーズ」のスタート、日英の音楽家と川崎市内の特別支援学校の生徒が作曲した「かわさき組曲」の指揮など、新たな企画にも果敢に挑戦し実現させました。原田慶太楼と東京交響楽団による今後の活動にもご期待ください。

欧米を中心に目覚ましい活躍を続けている期待の俊英。東京交響楽団正指揮者。シンシナティ響、アリゾナ・オペラ、リッチモンド響のアソシエイト・コンダクターを経て、2020年シーズンからサヴァンナ・フィルハーモニックの音楽&芸術監督に就任し27年シーズンまで更新されている。また2024年4月より愛知室内オーケストラの首席客演指揮者兼アーティストック・パートナーに就任。オペラでもアリゾナやノースカロライナ、ブルガリア国立歌劇場等で活躍。2010年タンブルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、2013年B・ワルター指揮者デビュー賞、米国シヨルティ財団キャリア支援賞6度、2023年には日本人初となるトップのコンダクター賞を受賞。2009年キャッソルトン・フェスティバルにL・マゼールの招待を受けて参加。第29回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。kharada.com/ @KHconductor

Recipient of the prestigious 2023 Sir Georg Solti Conducting Award, conductor Keitaro Harada is armed with intensity and depth, consistently providing riveting concerts and opera performances in Asia, the Americas, and Europe. And as Music & Artistic Director of the Savannah Philharmonic since the 2020-21 season—where he has recently renewed his contract through the 2026-27 season—Harada has transformed the quality of the orchestra and energized its audiences throughout the community with his imaginative programs and charismatic presence. Harada will become Permanent Conductor of the Tokyo Symphony Orchestra from 2024 and he has also forged a close connection with the NHK Symphony Orchestra, with whom he appears frequently. His eclectic musical scope ranges from symphony, opera, and chamber works to pops, film scores, educational outreach, and multidisciplinary projects, all of which enrich his programming. He will become Principal Guest Conductor and Artistic Partner of the Aichi Chamber Orchestra in the 2024 season.

# 3/25 MON.



## Masaya Kamei

Piano

亀井聖矢

[ピアノ]

2022年、ロン＝ティボー国際音楽コンクールにて第1位を受賞。併せて「聴衆賞」「評論家賞」の2つの特別賞を受賞。

2001年生まれ。4歳よりピアノを始める。2019年、第88回日本音楽コンクールピアノ部門第1位、及び聴衆賞受賞。第43回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、及び聴衆賞受賞。2022年、マリア・カナルス国際ピアノコンクール第3位受賞。ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。

これまでに、N響、読響、東響など、国内の主要オーケストラと共演。2023年には、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、出光音楽賞などを受賞。2021～2022年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。第51回公益財団法人江副記念リクルート財団奨学生。2023年度江崎スカラシップ奨学生。現在、カールスルーエ音楽大学、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースに在籍中。これまでに、青木真由子、杉浦日出夫、上野久子、岡本美智子、長谷正一、児玉桃の各氏に師事。

Masaya Kamei was brought to worldwide attention in 2022 at the Long-Thibaud International Competition in France where he won First Prize and Audience Award. He gained recognition in Japan when he won First Prize at the 43rd PTNA Piano Competition and the 88th Music Competition of Japan at the same time in 2019. His orchestral collaborations include NHK Symphony Orchestra, Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, Tokyo Philharmonic Orchestra.

Born in 2001, he started learning the piano at the age of four and has studied with Mayuko Aoki, Hideo Sugiura, Hisako Ueno, Michiko Okamoto, and Shoichi Hase. While studying at Meiwa High School, he admitted for early admission entrance program at Toho Gakuen School of Music where he completed his undergraduate study with the highest honors in 2023. He currently studies with Momo Kodama at University of Karlsruhe Music in Germany.

## 3/25 MON.

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー(1840～1893)

## 歌劇「エフゲニー・オネーギン」から ポロネーズ

チャイコフスキーは生涯に11作のオペラを書き残した。なかでも本作は、現在よく上演されるオペラの一つ。「このオペラには将来の見通しが無い」と、作曲者自身が弟子セルゲイ・タネーエフに宛てた手紙(1878年1月)で綴っていたのとは対照的だ。

作曲者はなぜそんな不安を抱いたのだろうか。原作となったのは、ロシアの文豪アレクサンドル・プーシキンによる階級差や悲恋をテーマとした物語。チャイコフスキーは、プーシキンの韻文に魅了されてオペラ化を決意した(これが彼にとって初めてのプーシキン原作オペラとなった)。しかし劇的効果に乏しく、聴衆の好みに沿うかどうかを心配したようだ。それでも「抑えきれない内的魅力」(同手紙)に従い、書いたのだという。舞台演出や衣装についても「豪華にする必要はない。1820年代当時に忠実に」(1877年1月、友人カール・アルブレヒト宛)と求めており、原作に対する熱意がうかがえる。この時、チャイコフスキーは30代後半。ちょうどメック夫人から金銭的支援を受け始めた頃にあたり、彼女にも作曲の相談をしていた。

音楽の魅力は多岐にわたる。たとえば複数ある踊りのシーン。チャイコフスキーは、踊りのシーンを、その階級差を象徴する場ととらえた。ロシアの田舎の踊りでは「大衆的(ポピュラー)な」マズルカやワルツを作曲。いっぽう女主人公タチヤーナが首都サンクトペテルブルクの社交界に仲間入りする舞踏会では、当時の「おしゃれな」舞曲であるポロネーズやエコセーズを採用した。こうして両者を区別し、タチヤーナが田舎娘から貴婦人へと変貌するさまを、音楽で巧みに描いたのだ。

作曲者自身は、このオペラを「抒情的情景」と名づけた。さまざまな情景をいかに音楽で彩り豊かに色づけするか—この点こそが彼の狙いだったのだ。とくにこの「ポロネーズ」は、打楽器や金管楽器を活用し、社交界の華やかさを演出している。

西田紘子 Text by Hiroko Nishida

作曲: 1882年

初演: ユリウス暦1879年3月17日(新暦29日)モスクワ、ニコライ・ルビンシテイン指揮

編成: フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、弦5部

セルゲイ・プロコフィエフ (1891～1953)

## ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 op.26

プロコフィエフの5曲のピアノ協奏曲の中でおそらく最も人気の高いこの第3番は、ロシア革命前の1913年に着想され第2楽章の変奏曲から着手された。だが、1917年に勃発した革命の大激震の中で作曲は中断されてしまう。革命政権下での創作継続は困難と判断した彼は翌1918年、この曲の草稿も携えてシベリア横断列車で東へ向かい、ウラジオストクから日本に渡る。日本では東京と横浜でリサイタルが開かれたが、当時の日本で彼の名を知る人は少なく聴衆はわずかだった。2か月間の日本滞在を経た8月2日、彼はアメリカへ去る。その後、各国を遍歴する不安定な歳月に本作の作曲は頓挫し、再開されたのは1921年夏のブルターニュ滞在中のことだった。同年9月28日に完成した曲は12月16日にシカゴで彼自身の独奏、フレデリック・ストック指揮のシカゴ交響楽団によって初演されたが好評を得られなかった。しかし、翌1922年にクーセヴィツキー指揮によるパリ初演が成功し、以来、20世紀を代表するピアノ協奏曲の一つに数えられている。このように、作曲期間中に彼が日本に滞在したという経緯があるため、曲の第3楽章には彼が日本で接した長唄「越後獅子」の旋律が用いられている、とみる説もある。たしかに、第3楽章冒頭主題の後半楽節は「越後獅子」のある個所の旋律と酷似している。

**第1楽章** アンダンテ-アレグロ、ハ長調、4/4拍子。自由なソナタ形式。冒頭は寂しげなクラリネットの独奏。それが二重奏となり木管と弦が加わるとヴァイオリンがせわしない上昇句を奏して独奏ピアノの鮮烈な主題を導く。

**第2楽章** アンダンティーノ、ホ短調、4/4拍子。主題と5つの変奏、コーダからなる変奏曲。

**第3楽章** アレグロ・マ・ノン・トロppo、ハ長調、3/4拍子。 Rond 形式のフィナーレ。ファゴットと弦のピツィカートで奏される歯切れのよい冒頭主題が「越後獅子」に由来するとされるもの。ピアノがこれを骨太の楽想に発展させる。

萩谷由喜子 Text by Yukiko Hagiya

作曲：1916/17～1921年

初演：1921年12月16日シカゴ、作曲家自身による独奏、フレデリック・ストック指揮、シカゴ交響楽団

編成：独奏ピアノ、フルート2(ピッコロ持替2)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、大太鼓、カスタネット、タンブリン、シンバル、弦5部

## 3/25 MON.

ジョージ・ガーシュウィン(1898～1937)

## ピアノ協奏曲 ヘ調

ニューヨークの下町ブルックリンでロシア系移民家庭に生まれたガーシュウィンは、小さい頃からピアノを弾くのが好きで、ある日、母親が近所へから見栄から中古ピアノを買い入れると、すぐにあれこれ弾いてみせたので家族は仰天する。その後、ピアノを基本から学ぶ一方、身近の黒人音楽を肌で感じて成長し流行歌の作曲家として世に出た。1924年「ラプソディ・イン・ブルー」で時代の寵児となった彼に、翌1925年、ニューヨーク交響楽団の指揮者ウォルター・ダムロッシュがピアノ協奏曲を委嘱してきた。「ラプソディ・イン・ブルー」の成功で自信をつけながらも、そのときはオーケストレーションに未習熟だったためグローフェに委ねたという負い目を抱えていた彼は、今度こそすべて自分の手で、と意気込む。そして初めて理論書を読み、自費でホールを借りオーケストラを雇って試奏するなど全力を傾け、独力で本作を書き上げた。ジャズを採り入れた曲は瑞々しい旋律、軽快なスウィング感、新鮮な和声感覚にあふれたもので、随所に「ラプソディ・イン・ブルー」も引用されている。1925年12月3日、彼自身の独奏、ダムロッシュ指揮のニューヨーク交響楽団による初演は成功を収めたが、賛否は分かかれ、ジャズとクラシックのどちらに分類すべきかの議論も呼んだ。

**第1楽章** ティンパニと管楽器の呼応から序奏はアレグロ、ヘ長調、2/2拍子。メーノ・モッソ、変イ長調、4/4拍子の主部は物憂げな第1主題とフォックス・トロット風の第2主題による。

**第2楽章** アダージョー・アンダンテ・コン・モート、変ニ長調、4/4拍子。ブルース風の魅惑的な緩徐楽章。

**第3楽章** アレグロ・アジタート、ヘ短調、2/4拍子。リズムで荒々しい主題から始まる。その後、2つの先行楽章の主な楽想を間に挟みながら進み、最後はティンパニの強打と独奏ピアノの力強いフレーズからヘ長調主和音に至って賑々しく曲を結ぶ。

萩谷由喜子 Text by Yukiko Hagiya

作曲：1925年

初演：1925年12月3日、作曲家自身による独奏、ウォルター・ダムロッシュ指揮、ニューヨーク交響楽団

編成：独奏ピアノ、ピッコロ、フルート2、オーボエ2、イングリッシュホルン、クラリネット2、バス・クラリネット、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、バス・チューバ、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、ドラ、トライアングル、鐘、木琴、弦5部

3/30 SAT.

## 第718回 定期演奏会

2024年3月30日(土) 18:00 サントリーホール

## Subscription Concert No.718

Sat. 30th. March 2024, 18:00 Suntory Hall

原田慶太楼 [指揮]

オルガ・カーン [ピアノ]

小林吉成 [コンサートマスター]

Keitaro Harada, Conductor

Olga Kern, Piano

Issey Kobayashi, Concertmaster

藤倉大:Wavering World (16')

D.Fujikura : Wavering World (16')

シベリウス:

交響曲 第7番 ハ長調 op.105 (21')

J.Sibelius :

Symphony No.7 in C major op.105 (21')

休憩 (20')

Intermission (20')

ラフマニノフ:

ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18 (33')

S.Rachmaninoff :

Piano Concerto No.2 in C minor op.18 (33')

I.モデラート

I. Moderato

II.アダージョ・ソステヌート

II. Adagio sostenuto – Più animato – Tempo I

III.アレグロ・スケルツァンド

III. Allegro scherzando

●主催/公益財団法人東京交響楽団

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

原田慶太楼のプロフィールはP.4をご覧ください。

楽曲解説はP.11をご覧ください



3/30 SAT.



## Olga Kern

Piano

オルガ・カーン  
[ピアノ]

舞台上での鮮やかな存在感、テクニックと音楽性で、オーケストラのソリストとしてのみならず、室内楽の舞台でも活躍し、同世代を代表するピアニストとして世界中で人気を博している。

第1回ラフマニノフ国際ピアノコンクールで第1位、第11回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール優勝。2023/24シーズンは、ラフマニノフの4つの協奏曲と「パガニーニの主題による狂詩曲」をオースティン響、ヴァージニア響と共演するほか、チェコ、南アフリカ、台湾等世界各国のオーケストラとの数多く共演。レコーディング活動も活発で、チャイコフスキー、ラフマニノフ、ショパン、ブラームス、ショスタコーヴィチなど多くの作品を収録している。2017年よりマンハッタン音楽院教授。オルガ・カーン国際ピアノ・コンクールの芸術監督。バージニア芸術祭室内楽部門のディレクターも務める。スタインウェイ・アーティスト。

With a vivid onstage presence, dazzling technique, and keen musicality, pianist Olga Kern is widely recognized as one of the great artists of her generation. Olga is a regular soloist with top orchestras, a wonderful chamber music collaborator, and a sought-after recitalist around the world. In 2023–2024, Olga performs Rachmaninoff's four concertos and Rhapsody on a Theme of Paganini with the Austin Symphony and Virginia Symphony. This season, she also performs with the Santa Rosa, Toledo, Pacific, Asheville, Taipei, Tokyo, and Prague Symphonies and the Rochester, Cape Town, and Czech Philharmonics. Olga is the artistic director of the Olga Kern International Piano Competition. She has been on the piano faculty of the Manhattan School of Music since 2017. She is the Connie and Marc Jacobson Director of Chamber Music at the Virginia Arts Festival. Olga is a Steinway artist. Her discography includes works of Tchaikovsky, Rachmaninoff, Chopin, Brahms, and Shostakovich.

藤倉 大(1977~)

## Wavering World

シアトル交響楽団からの依頼で、シベリウスの交響曲第7番と共演できる作品を求められたが、作曲家はクラシック音楽のほとんどのに興味がなかった。しかし、唯一好きな作品はシベリウスの交響曲第7番だった。シベリウスからの引用を避け、代わりにシベリウスの創作背景を調査し、フィンランド神話と日本神話に興味を持った。特に、天地分離のイメージが作曲のインスピレーションとなり、《Wavering World》が生まれた。

僕は日本神話について全然知らないんだなということに気づいた。日本神話に登場する最初の三柱の神(造化三神)は、天と地が分かれた時に現れたとされるみたいだ。歴史家の中には、この三柱の神には性別も無く、物質的な身体も持っていないとする説を唱えている者もいるらしい。この、天と地が分かれるイメージは優しく、割れ目に出現した新しい世界の発見を祝福し、そっと見つめるような音だ。天地が分かれたあとの世界の基本構造は、3層の概念で語られる。どうやら、神々が住む天上の世界、人間が住む葦が生い茂る中層世界(地上)、死者が住む地下の世界、という3つの垂直的なイメージらしい。

僕に最もインスピレーションを与えたのは、人間が住む地上の世界。天上世界に住む神々が、中層世界の人間を見下ろしているのを想像してみる。天上世界と冥界を繋ぐのが地上。そこには葦がさわさわと生い茂り、風にそよいでいる。人類学者によると、揺れる葦は、勢いよく水が流れる、湿度の高い東アジアの神話の典型的なイメージだそうだ。

本作品《Wavering World》のラスト3分の1は、葦がゆらゆらと揺れ、織られ、上へ上へと伸びていく動き。それは、人間の形、コミュニティの形、おそらくは島の形、そして世界が創られていくのを僕は想像した。木管楽器のメロディがそよそよと揺らぐ。僕が読んだ限りでは、ほとんどの神々はどこからともなく現れ、この葦も成長を始めたばかりなのだ。誰か一人が創造したわけではない。生命と世界は、どこからともなく形作られ、相互に作用し、いつしか世界になる。このイメージが僕を虜にした。

神々が存在する前の世界というのは、たぶん水中の油のような、クラゲのような感じだったという文章も読んだ。僕は、この不確実なイメージが好き。物事が適切な形を持つようになるのは、後になってからみたいだ。《Wavering World》の中間部分は、そんなことを表している気がする。浮遊する世界に囲まれた、さまよえるティンパニのソロ。

僕たちの目の前には、不確かな世界が漂っているのだ。

藤倉 大 Text by Dai Fujikura

作曲：2022年(シアトル交響楽団、パシフィック・フィルハーモニア東京、マンハイム国立劇場管弦楽団音楽アカデミー、バーミンガム市交響楽団による共同委嘱作品)

初演：2023年2月2日シアトル、カゼム・アブドゥラ指揮、シアトル交響楽団

編成：フルート3(ピッコロ持替3)、オーボエ3、クラリネット3(バスクラリネット持替1)、ファゴット3(コントラファゴット持替1)、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、ティンパニ、大太鼓、中太鼓、ボンゴ、木琴、シンバル、弦5部

## 3/30 SAT.

ジャン・シベリウス (1865 ~ 1957)

## 交響曲 第7番 ハ長調 op.105

フィンランドの首都ヘルシンキの北約100キロのハメーンリンナに生まれたシベリウスは、外科医だった父を2歳のときに亡くして母の実家で育つ。10代からヴァイオリンを学んでヴァイオリニストを志望するが、ヘルシンキ音楽院時代に学内演奏会に出演したとき、あがり症を克服できずソリストを断念、作曲家に志望変更してベルリンとウィーンに学んだ。帰国後、交響詩や小品で成功を収めたのち、1899年に交響曲第1番を発表する。その後1911年までに第2番から第4番までの交響曲を初演した。次いで1914年秋頃から3作の交響曲をほぼ同時に着想したようだが、1915年の生誕50年記念演奏会用としてそのうちの1作に集中して第5番を完成させた。そのあと、長期間かけて1923年1月に第6番を書き上げる。残る1作であるこの第7番は1924年春に完成し、3月25日、ストックホルムで自身の指揮により『交響的幻想曲』のタイトルで初演された。だが、標題性を持たないことや、単一楽章のうちにソナタ形式も息づき、緩徐楽章相当部分、スケルツォ部分を擁していること、それらが有機的に結びついて高次元に昇華された交響曲と認められることなどから、翌年には交響曲第7番として出版された。そして、これが彼の最後の交響曲となった。

曲の冒頭はアダージョ。ティンパニの一撃に続く弦のイ短調上昇音階から始まり、やがて木管楽器が北欧情緒に満ちた柔らかい楽想を歌う。ヴィオラの雄大な旋律も登場して全オーケストラへと発展する。次いでトロンボーンの雄々しい楽句のあとテンポが速まってスケルツォ風部分となり、再びトロンボーンが吹奏される。次のアレグロ・モデラートでは弦による民謡風旋律と木管の晴れやかな旋律が扱われ、それが一旦高揚したのちに鎮まり、再びテンポを速めてクライマックスを築く。最後は弦のトレモロ、ホルンの響きを経て、弦合奏の「ニーハーローハ」を背景に管楽器とティンパニの響きのうち崇高に曲を結ぶ。

萩谷由喜子 Text by Yukiko Hagiya

作曲：1924年

初演：1924年3月25日、ストックホルム楽友協会コンサート、作曲家自身の指揮。

編成：フルート2(ピッコロ持替2)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、ティンパニ、弦5部。

セルゲイ・ラフマニノフ(1873～1943)

## ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18

1897年の《交響曲第1番》初演の大失敗により大きな精神的痛手を受けたラフマニノフは、しばらく作曲活動に身が入らなくなった。指揮活動などに力を注いでいたが、しばらく経った1900年春、創作意欲を蓄えて取り組み、結果的に「復活」のアピールとなったのがこの《ピアノ協奏曲第2番》である。一般にニコライ・ダーリ博士の暗示療法が功を奏して、作曲の意欲を取り戻したとされるが、当時、博士の家に滞在していた女性エレナにラフマニノフが恋心を抱いたとされ、むしろそれが曲のインスピレーションの源になったという説も存在する。

当時としては斬新だった《交響曲第1番》とはうって変わり、濃厚なロマンティズムが前面に出るこの作品は、初演時から好評を博し、当時すでに前衛的な音楽に夢になっていた人々の間でも評判になったという。

### 第1楽章 モデラート 2/2拍子 ハ短調 自由なソナタ形式

鐘の音のようなピアノの和音が徐々に響きを増していく冒頭から大変印象的である。作曲家のメトネルは、「はじめから鐘が鳴るごとにロシアがすっと立ち上がるかのように感じる」と述べている。2つの主題は息の長いもので、抒情性と哀愁を伴い、さらにピアノソロが活躍する技巧的なパッセージも随所に挿入され、それが典型的な協奏曲の形式へと見事にまとめ上げられるその作曲技法はまさに職人芸的と言うほかない。

### 第2楽章 アダージョ・ソステヌート 4/4拍子 ホ長調 複合三部形式

1891年作の6手ピアノ連弾のための《ロマンス》の冒頭のアルペジオがこの楽章の主題の原型となっているが、これは幸福だった青春時代の追想だろうか。静寂が支配するなか、葉ずれや小川のせせらぎの音も聞こえてくる。

### 第3楽章 アレグロ・スケルツァンド 2/2拍子 ハ短調

舞曲風の音楽に始まり、めまぐるしい旋回運動が繰り広げられるが、それと対比されて抒情的な第2主題が置かれる。その第2主題に基づく堂々たるコーダは、エネルギーが最高潮に達し、圧巻である。

高橋健一郎 Text by Kenichiro Takahashi

作曲：1900年～1901年

初演：1901年10月27日モスクワ、作曲家自身の独奏ピアノ、アレクサンドル・ジロティ指揮、モスクワ・フィルハーモニー協会

編成：独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ2、大太鼓、シンバル、弦5部

Symphony Lounge [シンフォニー・ラウンジ]

4月定期予告

シベリウス・アカデミーから

# 羽ばたいた 指揮者たち

奥田佳道 (音楽評論家)

一昨年と昨年、今をときめくフィンランドの指揮者クラウス・マケラ (1996年生まれ) にバックステージで話を聞いた。「どうしてフィンランドばかりから指揮者が出てくるのか」「シベリウス・アカデミー\*の指揮科には何かマジックがあるのか」「チェロを弾く時間はあるのか」本稿を予告・予想したかのような質問をしていたのだった。

マケラ語録をご紹介します。

「シベリウス・アカデミーの指揮科に、特にマジックはないと思います(笑)。でも、アカデミーのジュニアコースに入るにせよ、限られた期間マスターコースで学ぶにせよ、オーケストラの楽器をプロフェッショナルな水準で演奏出来なければ、先生や学生と活動をともにすることは出来ません。この仕組みは、指揮者コンクールやヨーロッパの音楽マネジメント、メディアとコンタクト出来たヨルマ・パヌラ教授が創ったと聞いています。僕は12歳でシベリウス・アカデミーのジュニアコースに入り、パヌラ教授のもとで指揮を学び、数年後にはプロのオーケストラを指揮しています。チェロのレッスンやコンクールと平行しての日々でした」

シベリウス・アカデミーから羽ばたいた指揮者が、みな管弦楽器のスペシャリストだったことはよく知られている。



クラウス・マケラ

来月 (2024年4月) 客演するサカリ・オラモはフィンランド放送交響楽団のコンサートマスター。2025年3月の定期を任せたオスモ・ヴァンスカはヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団の名クラリネット奏者だった。ちなみにマケラはコンクール受賞歴もあるチェリスト。



オスモ・ヴァンスカ

そして彼らを高みに導いたのが、名伯楽ヨルマ・パヌラだ。もともとヴァンスカ曰く「先生は過大評価、優秀だったのは選抜された若手」となるのだが…。いずれにせよ、シベリウス・アカデミーでヨルマ・パヌラに師事という一文をあちこちで見かける。彼の推薦で檜舞台に名乗りを挙げた人材ばかりだ。

ヨルマ・パヌラ、フィンランド国立シベリウス芸術大学アカデミーのオーケストラ指揮科元教授。指揮者、作曲家、編曲家。オルガン、作曲を学び、1950年シベリウス・アカデミー教会音楽オルガン科卒業、1953年シベリウス・アカデミー指揮科卒業。フィンランド各地の歌劇場、オーケストラに客演。1968年、ヘルシンキ・

\*シベリウス・アカデミー：フィンランド国立シベリウス芸術大学アカデミー、通称SibA。指揮課程はオーケストラ、合唱、教会音楽など全6コース。卒業試験がプロ・オーケストラの定期や歌劇場でのオペラという年も多い。

フィル初のアメリカツアーを指揮した。1973年から1993年までシベリウス・アカデミー指揮科教授。現在に至るまで欧米、アジアで指揮者養成のマスタークラスを開催。国際指揮者コンクールの審査員歴も多い。

パヌラの後任として2013年までシベリウス・アカデミー指揮科教授に迎えられた巨漢の名匠レイフ・セーゲルスタム(1944~)によれば、パヌラの正規クラスに入学出来たのは、100名を優に超えていたという応募者から3名程度。いっぽうパヌラは個人の立場でマスタークラスやジュニアの指導も頻繁に行っていた。実はこのマスタークラスや個人レッスンから羽ばたいた指揮者が多いとのこと。で、彼のレッスンの特徴はといえば「何もしない」(セーゲルスタム談)。

敏腕プロデューサーでもあったパヌラはレッスン毎にプロの演奏家や学生を交えた「スペシャル・オーケストラ」を整え、若手にひたすら指揮をさせたという。課題は年に何と60曲。指揮台に立った若者の力量に問題があらうと、オーケストラに何か「事件」が発生しようと、パヌラは静観。レッスン後に学生、パヌラ、オーケストラ有志、他学科の教授、リサーチャー、聴講生によるディスカッションが始まる。ビデオが使えるようになってからは、演奏後に映像を視聴。何がよくて、何が問題だったかを具体的に語らせ、語り合い、次のレッスンに生かす——私もこの実践的な音楽の時間を共有、継承しましたよ、とセーゲルスタムは語る。

「私の好きな言葉は、優れた若者が現れたならば、年配者は喜んで彼の翼に風を送り、その人をさらに大きく羽ばたかせよう、です。これは古き良き時代のフィンランドの格言のひとつで、シベリウス・アカデミー指揮科のモットーでもあります。

フィンランドの若い指揮者たち、みんな素晴らしい。みんなライバルです。年寄りの私だって負けてなんてられません。でもね、みんな違って、いいでしょう」

ちなみに、余談というにはスケールが大きすぎる話なのだが、セーゲルスタムはフィンランドを代表する作曲家でもあり、昨年オンラインで何ったところ、交響曲第374番の完成が近いと語っていた。先日80歳の誕生日を祝い、交響曲第371番がお披露目されたというから驚く。

「私の交響曲は皮肉でも洒落でもなく、指揮者なしで演奏されます。私はどうするかって？ オーケストラのなかでピアノを弾きます。上手いものですよ。60年前、私はジュリアード音楽院のオーケストラでズッカーマンと並んでヴァイオリンを弾いていたのです。オーケストラで弾くのも好きなのです」

脱線が過ぎたが、セーゲルスタムの言葉に愛すべきフィンランド人指揮者の気質が見え隠れしないだろうか。スオミ(フィンランド)の指揮者の鮮やかな職人技、実践力、熱き音楽観に世界のオーケストラ、聴き手が喝采を贈っている。

サカリ・オラモ58歳の働き盛り。満を持して東京交響楽団にデビューを飾る。ラウタヴァーラ、サーリアホ、シベリウスの秘曲、そしてドヴォルザークの名曲への期待は、まさに限りない。もうすぐひんやりとした情趣、ボヘミアの調べに抱かれる。



サカリ・オラモ

# Together With TSO

for Music Lovers

## 東京交響楽団サポート会員

©N.Ikegami

ご芳名（敬称略）

法人  
会員

### プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス  
株式会社ドワンゴ

### ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人  
株式会社伊藤総合事務所  
株式会社イノアックコーポレーション  
株式会社インサイド・アウト  
環境ステーション株式会社  
株式会社すかいらーくホールディングス  
株式会社ティー ワイ リミテッド  
株式会社日本財託  
株式会社パソナグループ

### ゴールド会員

株式会社青山メインランド  
株式会社あ佳音  
オリエンタル酵母工業株式会社  
サントリーホールディングス株式会社  
社会医療法人財団石心会  
玉川学園・玉川大学  
玉の肌石鹸株式会社  
中外製薬株式会社  
銚子屋油槽船株式会社  
株式会社TFDコーポレーション  
株式会社鉄鋼ビルディング  
株式会社トーションパートナーズ  
西松建設株式会社  
株式会社NIPPO  
株式会社日本M&Aセンター  
ヒノキ新薬株式会社  
司法書士法人ふなざき総合事務所  
ミヨシ油脂株式会社  
ヤマザキビスケット株式会社

### シルバー会員

株式会社NHKビジネスクリエイト  
公益財団法人青梅佐藤財団  
川崎信用金庫  
松竹株式会社  
月島食品工業株式会社  
東京鐵鋼株式会社  
司法書士法人村田事務所

### ブロンズ会員

アーティス ホールディングス株式会社  
NPO法人かわさき市民アカデミー  
酒蔵駒八 別館  
株式会社シグマコミュニケーションズ  
新宿村スタジオ  
有限会社青史堂印刷  
ニッシンエレクトロ株式会社  
富士フィルムビジネス  
イノベーションジャパン株式会社神奈川支社  
前山歯科医院  
株式会社LALLヒューマンホールディングス

### 賛助企業

東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程  
政鬼運輸株式会社  
山崎製パン株式会社

匿名2社



©NJKegami

ご芳名 (敬称略)

個人会員

サークル50

- |            |            |              |            |
|------------|------------|--------------|------------|
| 磯村伊藤沖篤海暮澤田 | 文晴美樹暈明紀子秀雄 | 清水長瀬山口山口山口横川 | 尚彦雅則積知子☆学端 |
|------------|------------|--------------|------------|
- ☆名譽ハトロン

サークル25

- |          |           |          |           |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 石川猪田岡野加藤 | 晴依隆文孝昭一英輔 | 後藤鈴木戸川山本 | 実信恵二智史誠一郎 |
|----------|-----------|----------|-----------|
- ☆名 3名

サークル10

- |  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| 天野新井荒木五十澤稲田岩田内山梅沢遠藤大城大島太田大塚大類岡片山金山木賀菊池木内小林古近藤齋藤佐佐藤渡清水井高澤 | 佳和祥一陽子嵐菜緒めぐみ新誠彦秀和由紀子明幹肇純子具幸一浩邦子尚輔尚弘好生賢木光剛道子光健和喜夫脩司大助勝慎吾恭一美貴子 | 高田高野高島高田田中谷川谷藤千角田手塚中澤中村成瀬*西谷橋早川原田アール平川枇杷正水増田三浦水越三橋岸村森 | 光麻一幸智子琢己行博忍建一啓明雄清隆・直子昌宏守正豊倉祥一純一希美保子M.比嘉尚義・囀子高志雄和久聡三睦久祐太博信幸京子 |
|--|--|---|--|

- 森口健 俊子 純子  
森下 国彦 昭彦  
八鍬 昭 典彦  
山上 典彦

- 山口重雄 明久美子 美恵子 修一 修一 13名

- 藤野盾臣 森朗 光代 舟橋直樹 一彦 三橋下松 拓郎 村田

- 安江美穂 山中敏之 山田義美 鏡水書みお 尾原順美 吉原紗恵 匿名 32名

フレンズ5

- |                                   |                             |                                 |  |
|-----------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|--|
| 東 恭代 純子<br>有江原井上潮田大石川大野奥秋河野小林青藤佐藤 | 純子 祥子 健伊織直明輝伊藤紀子和彦 愛義彦 潤信一郎 | 塩澤高際寺西中島長谷川早松信山口山田山本吉田和久哲 匿名 2名 | 誠司比呂志 基之男 信泰弘 利正志 聡 修造 喜良四郎 哲 良輔 匿名 2名 |
|-----------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|--|

フレンズ3

- |  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 青木秋山明田荒有坂池田澤井上岩瀬曰居梅本大川大崎大津大家大笹大橋瀬瀬田小田皆瀬加藤兼子狩野川村菊池北川木村久保田 | 眞輝 真一郎 洋一 あかり 一彰 卓聡 正昭 正昭 剛元 透 啓一 展男 昌實 篤 桂子 俊文 夕里 明子 切 由美子 伸彦 仲彦 純一郎 洋 盛弘 幸男 穂 | 倉谷宏樹 曾孝 絢司 悦子 香健司 有男 弘也 いく子 忠明 眞理子 三善 祐次 美貴子 豊 土春 元嗣 幸雄 直明 敏嗣 己 典応 純子 栄 智雄 淑子 | * 佐藤 井上 猪瀬 今井 正 邦男 美知子 知子 裕 淳子 古 順子 裕一 洋子 一成 重男 眞名子 誠 さゆり 耕司 耕司 こずえ 孝義 正 初彦 康ルミ子 賀久 |
|--|---|---|---|

フレンズ1

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| ■あ相磯青* 磯野 赤秋元秋里岡野阿部阿部池田石井石川磯村板橋井手伊藤伊藤稲葉今宮今村今村岩澤岩瀬岩田上田潮田内海内川内山宇野梅崎*梅田瓜藤大嶋大島太田大塚 | 浩 寛 淳志 文士 浩 靖 百合子 利昭 有希子 正行 由紀 幸一郎 恵子 宏 晴司 功雄 順一 康子 正 邦男 美知子 知子 裕 淳子 古 順子 裕一 洋子 一成 重男 眞名子 誠 さゆり 耕司 耕司 こずえ 孝義 正 初彦 康ルミ子 賀久 | *大友英司 西佳子 大貫由香 大畑久恵 大森幸節子 岡田美穂 岡野徳兵衛 岡村幾子 小川弘晋 小川安江 小川康恭 沖知子 奥田和歌子 奥田由美子 奥貫壮ヒロ・エルミヒヤ 小野生島 小野雅信也 小野哲也 小野純二 小野美穂 小船井 美穂 | ■ 斐海藤 柏木 方波仁 片山葛城 加藤里加子 *金元川野 川之上 菅野田 菊池北村 木下 幸士 慶子 威司 和雄 千栄一 意里加子 妙子 善行 安子 裕美子 広和海 伸治 正信 雅子 眞泰子 亮 |
|--|---|---|--|

# Together With TSO

for Music Lovers

## 東京交響楽団サポーター会員



©NIkegami

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

\*新会員の方です。ありがとうございました(3月5日現在、五十音順)。

真布根 弘篤  
木村 好一  
木村 強  
木村 富士子  
木村 美智子  
木村 純芽  
\*久増田 伸一  
\*栗原 潔  
玄間 美幸  
小泉 徹  
好土崎 博  
河野 穂子  
高山 太  
高野 美恵子  
山府 里美  
国府 保周  
小坂部 恵子  
古平 一雄  
小西 淳  
小林 恭二  
小林 宏州  
小林 浩  
近藤 諒  
近内 光  
近内 友史子  
後藤田 裕二  
■さ  
齋木 一宏  
齋藤 ひろ子  
齋藤 博  
齋藤 将隆  
齋藤 有司  
齋藤 典子  
坂本 タカ子  
坂本 宗男  
坂本 前刀  
木々々 木 紀明  
木々々 通博  
佐藤 謙  
佐藤 幸子  
佐藤 勝  
佐藤 孜  
\*佐藤 利孝  
\*佐藤 深雪  
佐藤 美由子  
佐藤 由紀子  
藤成 瞳  
茂野 俊郎  
重松 恒夫  
戸塚 雅一  
篠田 一朗  
柴崎 晴雄  
波川 俊也  
川谷 明  
\*清水 恵美子  
清水 重夫  
志村 崇

庄司 一彦  
白石 大幸  
市城 和代  
菅原 昌啓  
菅原 次明  
杉山 慎二  
山山 明子  
山合 啓介  
洲合 孝和  
鈴木 美和  
鈴木 幸恵  
諏訪 達  
清水 穂名美  
清水 穂名美  
関 翔太  
関 洋  
■た  
高石 亜希子  
高木 敏和  
高木 晴彦  
\*高坂 麻由子  
\*高野 津知也  
高野 洋二  
高野 勝美  
高野 穂有  
高野 一ユリコ  
高橋 則雄  
高橋 幸男  
高松 昭聖  
高松 真也  
竹内 みお  
竹内 和彦  
竹内 正隆  
竹腰 裕行  
竹腰 和夫  
武田 大彦  
武田 幹昌  
武田 泰三  
\*武田 由紀子  
\*武田 敬子  
田邊 禎二  
田川 浩司  
田川 白百合  
谷川 小万紀  
谷川 守正  
谷原 浩  
谷原 正浩  
種田 晴久  
玉井 和男  
玉田 玲子  
塚田 淳  
塚田 直浩  
塚田 洋一

寺澤 寺澤  
田山 遠山  
遠山 登原  
登原 田鳥  
鳥居 居  
■な  
\*中神 朋子  
\*中沢 忠  
\*中村 紀美子  
\*中井 洋一  
\*長岡 秀成  
\*長岡 郁子  
\*長野 富貴子  
成合 明子  
西岡 直実  
西岡 昌紀  
西川 晶  
西川 陽子  
西川 淑子  
西村 真  
西村 英昭  
野口 信弘  
野口 誠  
野口 真有美  
野村 一成  
野村 真澄  
■は  
橋爪 千鶴子  
橋本 和雄  
橋本 一史  
橋本 憲人  
長谷川 京介  
長谷川 博  
波多 ミサエ  
早川 明男  
柳本 博子  
林原 和宏  
原口 ひとみ  
原田 岳士  
原田 慶子  
原田 京子  
坂東 泰子  
樋口 實子  
肥後 惠子  
廣瀬 泰文  
深沢 茂実  
藤田 献二  
古市 雄二  
古澤 美樹仁  
\*古澤 美樹仁  
堀田 典秀  
堀田 浩史  
堀川 信子

■ま  
前田 泉  
田光 光郎  
牧田 正司  
田正 明  
幕田 秀樹  
井田 一圭  
松岡 主子  
松尾 聡  
松澤 泰之  
松本 繁  
松本 俊郎  
松本 敏子  
丸山 雅也  
丸山 敬也  
水谷 哲男  
水谷 弘  
水野 弘  
水野 引  
三田 純子  
三田 尚子  
峯川 悦子  
\*宅宮 雅之  
\*宮坂 健司  
\*宮崎 靖子  
\*宮崎 朋子  
\*宮崎 昇  
\*宮本 好江  
\*宮本 江司  
\*村上 正弘  
\*村上 善弘  
\*村瀬 里美  
\*森田 喧和  
\*森島 喧和  
\*柳沼 美智子  
\*安富 康男  
\*柳 雅一  
\*友幸  
\*柳本 和代  
\*矢野 隆幸  
\*山縣 裕児  
\*山岸 政一  
\*山山 克  
\*山田 昌克  
\*山田 美生子  
\*山田 義利  
\*山田 博  
\*山本 俊明  
\*山本 尚洋  
\*湯川 美紀  
\*吉富 民子  
\*吉野 幸子  
\*吉見 敬光  
\*米田 光幸  
\*米谷 克幸  
■わ

若田部 矩弘  
若槻 不二夫  
渡邊 朋子  
C.S.  
N.S.  
T.Saito  
匿名 138 名

■荣誉会員  
ヨーク・ナガエ  
チェスキーナ

### 遺贈・相続ご寄付(敬称略)

鈴木 久子 牧野 季子  
竹内 容子 岡橋 純男  
齊藤公治メモリアル基金 岡橋 孜

### 法人定期会員

【定期演奏会】  
東京コンテナ工業株式会社



### 特別後援会員制度のご案内

当楽団では公演の1営業日前までにご欠席の連絡をくださった方には、入場券代はお返し致しませんが、特別後援会員として1年間定期公演のプログラムにお名前を掲載させていただき、当団主催公演の入場券を5%引き(TOKYO SYMPHONY チケットセンター扱いのみ)にてお求めいただけます。お求めの際に特別後援会員であることをお申し出ください。なお、対象となる演奏会は当団が指定する主催公演です。

安齋 優 樋口 由美  
伊藤 智志 森山 雅一郎  
関根 三善 匿名 10 名  
東 由美子 (敬称略)

ご連絡はTOKYO SYMPHONY チケットセンター  
044-520-1511へお電話をお願いします。



©N/kegami

## <東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのため不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

### 個人会員

フレンズ1

年額1万円  
～29,999円

フレンズ3

年額3万円  
～49,999円

フレンズ5

年額5万円  
～99,999円

サークル10

年額10万円  
～249,999円

サークル25

年額25万円  
～499,999円

サークル50

年額50万円～

### 法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけでなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円～

シルバー

年額30万円～

ゴールド

年額50万円～

ダイヤモンド

年額100万円～

プラチナ

年額1000万円～

#### 会員特典

詳細はHP、  
又はお電話でお問合せ下さい

会員特典	法人会員	サークル会員	フレンズ会員		
			フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内	○	○			
ゲネプロ見学会(年3回以上)	○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)	○	○	○	○	○
ご芳名掲載	○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約*1	○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内*2	○	○	○	○	○

\*1 一部対象外もございます。\*2 東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

#### 税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合:「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分\*3について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合:「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。\*

\*但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈、相続ご寄付についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけます。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ **TEL 044-520-1518**

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail [supporters@tokyosymphony.com](mailto:supporters@tokyosymphony.com)

# Tokyo Symphony Orchestra Asia Project



## ～東京交響楽団アジア・プロジェクトとは～

独立行政法人日本芸術文化振興会が募集した＜新たなオーケストラ支援事業＞の3年間の助成に、東京交響楽団が提案した『東京交響楽団のアジアを拠点とする新たな取り組み』が採択され、このたび「東京交響楽団 アジア・プロジェクト」を始動することとなりました。これまでの日本のオーケストラの海外公演とは異なった新しい形で、アジアに新たな拠点を築き、日本からアジア全体へと視野を広げて、多角的な活動を展開していくものです。

### ・ Report

2024年2月6日(火)

## パートナーシップ調印式

タイ・バンコクにおいて、東京交響楽団(以下TSO)とロイヤル・バンコク交響楽団(以下RBSO)、シラパコーン大学音楽学部とのパートナーシップ調印式を行いました。会場となった在タイ日本国大使館には、タイのメディアに多くお越しいただきました。TSOの紹介映像の後、梨田和也在タイ日本国大使からのご挨拶に続き、楽団長の廣岡克隆が今回のプロジェクトの目的と意義についてお話をさせていただきました。調印後は、廣岡楽団長のヴァイオリンも加わった弦楽合奏を披露し、シラパコーン大学ダムリ・バナウィタヤキット教授やRBSOコンサートマスターのビン・ハン氏とも共演。会場は大いに盛り上がりました。



2月7日(水)

## 日本大使館主催ナショナルデー

TSO弦楽アンサンブル9名は、バンコク市内の巨大施設クイーンシリキットコンベンションセンターで開催された日本大使館主催の＜天皇誕生日レセプション＞に出演をさせていただきました。コロナ後最大級の招待客の中、TSOの紹介映像が流れ、グリーグ：ホルベルク組曲“プレリュード”やタイでもよく知られている“昴”など4曲を演奏。TSOブースでは、アジア・プロジェクトや3月22日タイ文化センターでのコンサートを紹介し、多くの方々に興味を持っていただくことができました。



2月8日(木)

## 弦楽五重奏コンサート

TSOの弦楽五重奏はバンコクの日本人学校を訪問し、5、6年生と9年生(中学3年生)に午前と午後の2回、演奏会を開催しました。演奏会はモーツァルト《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》で始まり、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスそれぞれの楽器の音やハーモニーの中での役割を、トークを交えて実演。ドヴォルザーク《アメリカ》などクラシックの名曲から最近話題の曲まで、幅広くお楽しみいただきました。最後はバンコク日本人学校の校歌を、子どもたちの歌と先生のピアノと一緒に演奏しました。子どもたちは演奏会を真剣に聴いている様子で、「もっと聴きたかった!」「また来てくれないの?」といった、嬉しい感想をいただきました。



2月9日(金)

## 合同弦楽合奏演奏会

TSOの弦楽器奏者5名は、ルンピニ公園近くのラチャダムリにあるAUA Language CenterホールにてRBSOのメンバーと弦楽アンサンブルの演奏会に臨みました。リハーサル当初は少し緊張していたそれぞれのプレイヤーも、ともに音楽と向き合い、お互いの意見を出し合ううちに打ち解け、これから私たちが共に創り出す大きな成果を予感させるものとなりました。



3月22日(金)

## 東京交響楽団特別演奏会／ タイ文化センター(バンコク)

指揮:大友直人／ヴァイオリン:服部百音

シベリウス:ヴァイオリン協奏曲

ブラームス:交響曲 第1番

特別演奏会のレポートは、  
追って掲載いたします。

最新の情報は「東京交響楽団アジア・  
プロジェクト」特設サイトから



# NEWS & TOPICS

## 「音楽の友」

コンサート・ベストテン2023第1位に選出！

音楽監督ジョナサン・ノット&東京交響楽団「エレクトラ」

「音楽の友」2月号の特集「コンサート・ベストテン2023」にて、音楽監督ジョナサン・ノット&東京交響楽団の《エレクトラ》が第1位に選出されました。同ランキングは音楽誌「音楽の友」が1988年に開始したもので、当団の第1位選出は初の快挙です。



第3弾「ばらの騎士」全キャスト&  
チケット発売日が決定！

12/13(金)17:00(休憩2回/21:30終演予定)

サントリーホール

12/15(日)14:00(休憩2回/18:30終演予定)

ミュゼザ川崎シンフォニーホール



### チケット発売日

【12/13公演】

東響会員先行発売：オンライン先行発売：一般発売：

6/17(月)10:00～ 6/20(木)10:00～ 6/27(木)10:00～

【12/15公演】

一般発売：

6/27(木)10:00～

詳細は  
特設サイトから



音楽監督ジョナサン・ノット指揮

「チャイコフスキー：交響曲第4番」CDが発売！

2023年《フェスタサマーミュゼKAWASAKI》で、音楽監督ジョナサン・ノットと東京交響楽団が演奏したチャイコフスキー：交響曲第4番のライブCDが、2月21日にリリースされました。習慣化された演奏スタイルから脱却し、“革新的なチャイコフスキー像が誕生した”と言わしめた名演をお楽しみください。東響SHOPでもお取り扱いがございます。



評 議 員 就 任

1月15日付

芳野まい Mai Yoshino [東京成徳大学経営学部准教授]

東京生まれ。東京大学教養学部教養学科卒業。マルセル・プルーストの『失われた時を求めて』を読みフランス研究を志し、ロータリー財団奨学生、フランス政府給費留学生として渡仏。芸術経営論、ブランド論、イメージマネジメント論も研究。複数の財団で理事等を務める。幼少期よりクラシック音楽に親しんでいる。



正 事 務 局 員

新 入 団

2月1日付

榎日向

Hinata Enoki

[フランチャイズ事業本部]

2月1日付

白井有琳

Arin Shirai

[ホルン奏者]

2月1日付

ローリー デイラン

Dylan Lowery

[首席トランペット奏者]

3月1日付

三橋真琴

Makoto Mitsuhashi

[事務局 チケット販売本部]

## NEXT PROGRAM

4/20(土) 第719回 定期演奏会  
18:00 サントリーホール

4/21(日) 川崎定期演奏会 第95回  
14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

4月より、定期演奏会をはじめ主催シリーズの開場時間が開演30分前に変更となります。

指揮: サカリ・オラモ

ソプラノ: アヌ・コムシ

ラウタヴァーラ: カントゥス・アルクティクス  
(鳥とオーケストラのための協奏曲)

サーリアホ: サーリコスギ歌曲集(管弦楽版)  
<日本初演>

シベリウス: 交響詩「ルオンノタル」

ドヴォルザーク: 交響曲 第8番



[4/20]S¥8,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥4,500 P¥3,000

[4/21]S¥8,500 A¥6,500 B¥4,500 C¥3,500 P¥3,000

TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511 (平日10:00 ~ 18:00 / 土日祝休)

# 東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ  
新潟市準フランチャイズオーケストラ

公式サイト <https://tokyosymphony.jp>



1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し現在に至る。サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行い、文部大臣賞を含む日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。新国立劇場のレギュラーオーケストラを務めるほか、川崎市や新潟市など行政と提携した演奏会やアウトリーチ、「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」等教育プログラム、ウィーン楽友協会をはじめとする海外公演も注目されている。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集め、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」では2022年に《サロメ》が第2位、23年には《エレクトラ》が第1位に選出された。

Jonathan Nott began his tenure as the 3rd Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra in 2014 season. The Tokyo Symphony Orchestra, together with music director Jonathan Nott, has been attracting attention as a leader in the Japanese orchestra world. "Elektra in Concert Style(2023)" won the 1st prize in the "Top 10 Concert 2023" following the 2nd prize of "Salome in Concert Style(2022)" on Ongaku no Tomo magazine as well as the Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra' s amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven filmed by 45 cameras, the largest record of the orchestra history live-streamed nationwide, Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO' s home and Mozart' s Da Ponte Operas in concert style. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 78 concerts in 58 cities since 1976. The Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera, and has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

マエストロ・シート

【5組10名の小・中・高校生無料招待】



NICO NICO  
TOKYO SYMPHONY  
ニコニコ東京交響楽団



音楽・動画配信サイト  
【TSO MUSIC & VIDEO  
SUBSCRIPTION】

1か月550円(税込)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE  
**Symphony**

Symphony 2024年(令和6年)3月号[非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764  
<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310  
ミュゼ川崎セントラルタワー5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネススクリエイト